

和歌山大学の紹介

都若黎（中国・交換留学生・首都師範大学）

中国人留学生の都若黎と申します。去年の九月に日本に来ました。

「小合衆国」



日本に来てからはまだ九ヶ月ですが、この和歌山大学で多くの人と出会いました。和歌山大学には、中国のほか、アメリカ、フランス、マレーシア、韓国など世界各国の留学生がいて、多くの国の文化に触れることができます。ここで始めて、「世界は広い」ということを実感しま

した。

日本人やほかの国の人たちとどんどん友達になったので、留学が始まった頃は大変助かりました。寂しくなることなんてまったくありませんでした。そして、自分の語学力の向上にも大変役に立ったと思います。

初めての日本で、初めての友達。和大での生活は、勉強だけではなく、充実した毎日です。クラスや活動では、広い視野を得て、広い世界も体験できます。



「キャンパスの四季」



日本では季節によって自然界に大きな変化が生じます。この和歌山大学は特に、一年中四季の変化によって、美しい風景になります。

和歌山大学のキャンパスは標高79メートルの高台



にあります。風景がきれいで、天気の良い日にはキャンパ



スではかなり遠くまで見えます。大学は多くの緑に囲まれ、とても静かなので勉強や研究をするのにも快適な環境だと思います。

三月になると、暖かく春になります。梅も桜も咲き始めて非常に美しい風景になります。四月になると、キャンパスの桜が満開になります。鮮やかなピンク色のカーテンが新入生を迎えます。桜木の下では、集まって写真を撮る学生たちがたくさんいます。



五月の終わりから夏らしくなってくるので 緑の色は鮮やかになります

秋には紅葉で燃えるような木が、学校の近くの山ではどこでも見ることができます。赤、黄色、オレンジ色が鮮やかに混じり合い、素敵な風景になります。そして、山の道（裏坂）にコスモスがいっぱい咲いていて、すごくきれいです。



冬になるとどんどん寒くなって、空気もきれいになります。葉が冷たい風で散ってしまって、自然の景観がまた変わってきます。

この季節、
から遠く
川まで見
す。



天気のいい日には、システム工学部A棟8階



は紀の
渡せま



「授業と活動」

最初のころ、自分が言いたいことがうまく表現できなくて、日本人と話すときすごく恥ずかしかったです。それで、留学生に対する日本語の授業を取りました。

授業の中では自分の意見を発表する時間が多く、先生方から詳しい指導を受け、発表が苦手だった私もだんだん慣れてきました。先生方にとっても感謝しています。

また、留学生に対する日本文化を体験する授業や活動は多く、奈良の見学や、茶道、書道など外国人が普通に接する機会のない日本文化を体験するチャンスが多いです。これらの活動は日本の伝統文化や日本を深く理解するために大変役に立つと思います。

和歌山大学での留学は、私の人生にとって貴重な経験だと思います。

